

# 「チャレンジ・ファンド」報告書

ー 日本青年国際交流機構(IYEO)自主活動サポート助成金制度ー

## 〈団体概要〉

主催者名	沖縄県青年国際交流機構		
(ふりがな) 代表者氏名	うえずりな 上江洲利奈	参加事業	平成17年度/第18回 世界青年の船事業
電話	090-3814-4324	EMAIL	okinawa.iyeo@gmail.com

## 〈活動報告〉

活動名称	「みる・つくる・つどう・つながる」子どもフェスタ2015		
申請額 (上限10万円)	10万円	※活動の 全体予算	190,400円
活動期間	平成27年10月4日(日)	活動場所	那覇市若狭公民館 3階ホール・研修室
活動の成果 (プログラム 内容・ 参加者数等 詳しく記入す ること)	<p>来場者数、約120名。 沖縄県青年国際交流機構会員の宮里幸子が所属する「沖縄なは子ども劇場」との共催として開催。全体として5つのプログラムを実施した。</p> <p>①体験コーナー(IYEO紹介&amp;国際交流、パラパラアニメ作り、スイーツデコ作り、フェイスペイント、スライム作り)</p> <p>②子どもフリーマーケット</p> <p>③子どもカフェ</p> <p>④一芸披露大会</p> <p>⑤音楽鑑賞「琉球交響楽団」 (各プログラムの詳細)</p> <p>①工作系ブースでは、プロ指導者より直接指導を受け、本格的な作品に仕上げ、どの子どもも満足を得たようであった。国際交流では、JICA沖縄センターのミャンマーの方々にお国紹介をして頂いた。外国の衣装、音楽、言葉に子どもたちは興味津々であった。青年期になったとき、さらに異文化交流を体験できる場として、内閣府各種交流事業についてのパネル展示を行い、保護者への周知にも努めた。</p> <p>②家から持ち寄った品に子ども自身が値段をつけ、接客をしながら対面販売を行った。自主性、社会性、ちょっとした経済感覚を学ぶきっかけになったと期待される。</p> <p>③昼休みを利用し、子どもたちがパンやお菓子、飲み物を販売した。ブース販売だけでなく、子どもたち自らが会場をまわってパンを販売するなど、自主性を持って活動的にイベント参加する姿が印象的であった。</p> <p>④一芸披露大会は、人前で自己表現をすること、さらに他者の発表を見ることで他者理解することを目的に開催した。これにより相互理解を体感することができた。司会進行も子どもたちが行った。</p> <p>⑤地元で幅広く音楽活動を展開する「琉球交響楽団」の演奏を鑑賞した。すぐ目の前でプロの生演奏を聴くことができ、感受性を高めることができた。</p>		
決算報告	別紙の通り。		